

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ふしぎ	1	○詩に親しみ、詩の言葉から作者が見つめるものを見つめなおす。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増やしている。 ○語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを互いに発表し合い、確かなものになっている。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、詩を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
桜蝶	4	○文学作品の構成や展開を描写とともに理解する。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増やしている。 ○語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考えようとしている。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	○言葉がもつ価値観に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
お気に入りの一品を紹介する	2	○伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増やしている。 ○語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し伝え合おうとする。 ○自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考える。	○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
言葉の単位	2	○文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。	○単語の種別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。		○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。
自分の脳を知っていますか	6	○文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。 ○文章の構成を捉え、要約に生かす。 ○「脳の奇妙な癖」を理解し、筆者の考えをまとめる。	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	○文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握する。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えている。 ○語彙力を増やそうと積極的に取り組んでいる。
資料から得た根拠をもとに意見文を書く	6	○資料を比較して、共通点と相違点を見つける。		○書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。

漢字の部首	1	○漢字の部首についての理解を深める。	○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。		○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
内容を整理して説明する	4	○聞き手がわかりやすいように、話す内容を整理して表現する。 ○相手の反応を見ながら、話す内容を工夫して伝える。	○紹介や報告など伝えたいことを話したり、それを聞いて質問したり意見を述べたりする活動している。	○目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し伝え合おうとする。 ○相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えている。 ○語彙力を増やそうと積極的に取り組んでいる。
日本語の音声	2	○日本語の音の特徴を理解している。	○音声の働きやしぐみについて理解を深める。		○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。
ベンチ	4	○本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を考える。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増やしている。 ○語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。	○言葉がもつ価値観に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
◆全ては編集されている／写真で「事実」を表現する	2	○写真を見るとき観点を知り、写真の特徴を理解する。 ○写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	○目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。	
画数と活字の字体	1	○画数と活字の字体について理解を深める。	○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。		○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。

材料を整理して案内文を書く	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。</li> <li>○目的や意図を意識して案内文を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し伝え合おうとする。</li> <li>○書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。</li> </ul>
都道府県に用いられている漢字	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都道府県の漢字を正確に書くようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。</li> </ul>
文の成分	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○比喩・反復・倒置・体言止めなどの表現技法を理解し使う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。</li> </ul>
持続可能な未来をつくるために	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。</li> <li>○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。</li> </ul>
森には魔法つかいがある	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。</li> <li>○筆者の考え方や述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事象や行為、心情を表す語句の量を増やしている。</li> <li>○語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>○単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。</li> </ul>
日本語の文字	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本語を書き表す文字の特徴を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音声の働きやしぐみについて理解を深める。</li> <li>○語句の由来などに関心をもつとともに時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。</li> </ul>

根拠を明確にして意見文を書く	5	○意見と根拠の関係を理解する。 ○根拠をはっきりさせ意見文を書く。	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。 ○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使う。	○根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。
広告の情報を考える	2	○広告を見る時の観点を知り、広告の特徴について理解する。 ○目的に応じて、言葉と画像を組み合わせ、広告をつくる。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使う。	○目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し伝え合おうとする。 ○根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。
昔話と古典	1	○古典には様々な作品があることを知り、古典の仮名遣いに触れる。	○音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して古典の世界に親しむ。	○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。	○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。
物語の始まり	4	○古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。	○音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して古典の世界に親しむ。	○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。	○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。
故事成語	3	○いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ○漢文訓読のきまりを理解したり、音読して文章の響きを集める。	○音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して古典の世界に親しむ。	○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。	○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。
蜘蛛の糸	3	○我が国の代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	○読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。	○文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考えようとしている。	○言葉がもつ価値観に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

河童と蛙	2	○場面と描写を結び付けて読む	○事象や行為、心情を表す語句の量を増やしている。 ○語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○比喩・反復・倒置・体言止めなどの表現技法を理解し使う。	○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。
オツベルと象	7	○語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ○場面と描写に着目して、作品を読み、内容を解釈する。 ○作品の根拠や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。	○音声の働きやしぐみについて理解を深める。 ○事象や行為、心情を表す語句の量を増やしている。 ○語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○比喩・反復・倒置・体言止めなどの表現技法を理解し使う。	○文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考えようとしている。	○言葉がもつ価値観に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
随筆を書く	4	○身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○読み手の立場に立って、表記や語句の方法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	○粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
子どもの権利	4	○専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ○論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。 ○自分の経験と関連付けて読み、自分の考えをまとめる。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増やしている ○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使う。	○文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考えようとしている。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。
漢字の音と訓	1	○漢字の音と訓についての理解を深める。	○音声の働きやしぐみについて理解を深める。		○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。
調べた内容を書く	3	○自分の考えと比較し、その共通点や相違点を踏まえて、考えをまとめる。 ○相手の話を聞いて記憶したり、質問したりしながら内容を捉える。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増やしている。 ○語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し伝え合おうとする。 ○根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。

言葉がつなぐ世界遺産	5	○問いと答え、事実と意見の関係を捉える。 ○事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。 ○筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	○文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握する。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。
読み手を意識して報告文を整える	4	○読み手の立場に立って、文章を整える。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増やしている。 ○語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○読み手の立ち場に立って表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。
単語のいろいろ	3	○自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。	○単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。		○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。
熟語の構成	1	○熟語の構成の基本的な型を知る。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増やしている。		○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えている。 ○語彙力を増やそうと積極的に取り組んでいる。
少年の日の思い出	7	○語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。 ○場面の展開や登場人物の心情変化を描写に基づきながら捉える。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増やしている。 ○語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。
四季の詩	2	○それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。	○音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して古典の世界に親しむ。	○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。	○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。
発言を結びつけて話し合う	4	○話題を意識して話し合い、発言を結び付ける。	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	○目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し伝え合おうとする。 ○根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。

漫画で「物語」を表現する	2	○漫画の表現の特徴について理解する。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	○相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、相手にわかりやすく考えたことを伝え合おうとしている。
方言と共通語	1	○方言と共通語の特徴について知る。	○共通語と方言の果たす役割を理解している。		○言葉がもつ価値観に気づくとともに、我が国の言語文化を大切にして、生活に生かそうとする。

120

教科	書写	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
詩「ふしぎ」金子みすゞ	1	○よい姿勢や用具の持ち方で、配列よく詩を書くことができる。	○小学校で学習した姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを理解している。 ○字間・行間を理解して、行が曲がらないように書いている。	○小学校で学習した内容を確認している。	○詩を書く学習をとおして、書写活動に意欲的に取り組んでいる。
姿勢と用具の使い方	1	○小学校で学習した姿勢・執筆、用具の使い方について確認することができる。	○姿勢・執筆、用具の扱いなどを理解している。	○姿勢・執筆、用具の扱いなどを確認している。	○姿勢・執筆、用具の扱いなどを正しく把握しようとしている。
学習内容を効果的にノートに書こう	1	○ノートの基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	○ノートの書き方を理解している。 ○ノートの書き方を理解して書いている。	○ノートの書き方を考えている。	○ノートの書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。
筆使いと字形「天地」	2	○小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いと字形を理解して書くことができる。	○基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。 ○基本点画の筆使いや文字の組み立て方を理解して書いている。	○基本点画の筆使いや文字の組み立て方を確認している。	○基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。
学習を生かして書く —字形、筆順—	1	○字形の整え方と筆順の原則を理解して書くことができる。 毛筆で学習したことを、硬筆に生かすことができる。	○字形の整え方、筆順の原則を理解している。 ○字形の整え方、筆順の原則を理解して、正しい筆順で書いている。	○字形の整え方、筆順の原則の重要性を確認している。	○字形の整え方、筆順の原則を知ろうとしている。

筆脈「いろは歌」	2	○平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して書くことができる。	○平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解している。 ○平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して書いている。	○紙面全体の調和、筆使いや筆脈、配列を考えている。	○平仮名の筆使いや筆脈、配列に関する自己の課題を把握し、その解決に向けて取り組んでいる。
学校生活に生かして書く ・お薦めの本の帯やポップを作る	4	○伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を工夫して書くことができる。	○伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を理解している。 ○さまざまな書式に従って、配列や用具を理解して書いている。	○伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を考えている。	○他教科や日常生活の中の書写活動に興味・関心をもって取り組んでいる。
楷書と行書の違い「和」	1	○楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴などを理解できる。	○楷書と行書の特徴の違いから、行書の点画の特徴を理解している。	○楷書と行書の特徴の違いから、行書の点画の特徴に気づいている。	○楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴を知ろうとしている。
点画の連続と変化「大木」	1	○点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	○点画の連続と形の変化の筆使いを理解している。 ○点画の連続と形の変化の筆使いを理解して書いている。	○点画の連続と形の変化を確かめ、自己の課題を考えている。	○点画の連続と形の変化について、課題意識をもって取り組んでいる。
点画の連続と省略「平和」	1	○点画の連続と省略を理解して書くことができる。	○点画の連続と省略を理解している。 ○点画の連続と省略を理解して書いている。	○点画の連続と省略の筆使いを確かめ、自己の課題を考えている。	○点画の連続と省略の筆使いについて、課題意識をもって取り組んでいる。
書き初めを書く	5	○文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。	○楷書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して書いている。	○紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を考えている。	○自己の課題をもって取り組んでいる。